



フィールドワークで郷土愛を

鋸南町立鋸南中学校校長 さかい じゅん 酒井 純



鎌倉殿の13人

今年のNHKの大河ドラマは「鎌倉殿の13人」である。石橋山の戦いで敗れた源頼朝は安房の地に逃げ延び、軍勢を大きくしながら北上し、やがて鎌倉に幕府を開く。その安房上陸の地といわれている場所が、学区の竜島海岸である。この「頼朝上陸の地」をはじめ町内の名所旧跡を巡るフィールドワーク（以下FWと表記）が本校の学校自慢である。

総合的な学習の時間で

このFWは1年生の総合的な学習の時間で実施している。毎年、3年生の修学旅行・2年生の安房地域を巡る宿泊学習と同時期に町内のボランティアガイドを依頼しスクールバスを活用し、勝山方面と保田方面の名所・旧跡を巡る。学年を大きく二分してそれぞれを小グループに更に分けて巡り、途中で入れ替わる。当日までにそれぞれの場所で、調べたいこと、ガイドさんに質問することを準備し臨んでいる。ガイドしてくださるボランティアの方は6人おり、生徒たちに熱心にお話をしてくださる。

名所豊富な鋸南町

FWで回るところは次の通り。

（「鋸南町の歴史」鋸南町教育委員会発行を参照）

【勝山方面】

(1)頼朝上陸地

石橋山の戦いで敗れた源頼朝が上陸したと言われている場所（鋸南町竜島）。石碑あり。

(2)旗立山

先着していた北条時政らが頼朝への目印に白旗を立てたと言われている山。

(3)玉の井

頼朝が鋸南の人々に与えたとされるものは名字などいろいろあるが、これは公飲用の井戸として住人に伝えられたもの。

(4)大黒山（醍醐新兵衛墓）

江戸時代に勝山沖で鯨漁を組織化して行った醍醐新兵衛の墓。

(5)妙典寺

勝山藩義士の石碑がある。

(6)加知山神社

近代教育に力を尽くした野呂道庵をたたえる寿蔵碑（石碑）がある。

【保田方面】

(1)菱川師宣誕生地

浮世絵の開祖と言われる菱川師宣の生地、町内には菱川師宣記念館もある。

(2)別願院

保田海岸近くにある別願院は、浮世絵の創始者・菱川師宣の菩提寺で師宣の墓がある。師宣寄進の大吊鐘があったが、太平洋戦争中、国に供出された。

(3)海水浴発祥地

明治22年、保田を訪れた夏目漱石が記した「木屑録」に自身の海水浴が紹介されており、これを記念して「房州海水浴発祥の碑」が建てられた。

深まる郷土愛

上記以外にも町内には名所旧跡が点在しており、生徒たちはこのFWを通して鋸南町の魅力を再確認し、郷土愛を深めている。

今後もこの素晴らしい活動を継続し、郷土鋸南を愛する生徒を育てていきたい。